

これまでの取り組み

<もしもしピットの概要>

- 「もしもしピット」は、ドライブ中に車を止め、安全に携帯電話等を利用できる駐車帯のことです。
- 秋田から始まり、東北管内で141箇所に整備しています（H19年3月）。
- 道路沿いの駐車スペースや利用されていない道路用地などを有効活用することで、低コストの整備を実現しています。
- 運転中の携帯電話使用の事故は、道路交通法改正により減少していますが、携帯電話使用等違反はいまだに年間90万件（H18）と後を絶っていません。



<整備目的>

- 運転中の携帯電話、カーナビ使用による交通事故の防止
- 短時間休息などドライバーの利便性向上
- 道路に関わる緊急情報等の通報機会の確保、除雪車などの一時待避場所

<整備の考え方>

1. 交通事故防止：運転中の携帯電話等の利用を原因とする事故を防止します
2. 休憩機能：安全で快適な運転を支えます
3. 低コストの実現：道路区域内の既往スペースや未利用地など、「既存ストック」を有効活用して整備します